■寸法図

■主要仕様

			SQX500HD-2
最大吊上荷重×作業半径	クレーン仕様	t×m	25×18.8
	バケット仕様	t×m	20×21.5
ジブフート高さ		m	13.5
ジブ長さ		m	30.5
巻上／巻下ロープ速度*		m / min	62 / 62
ジブ起伏速度*		m / min	79
旋回速度*		min⁻¹(rpm)	2.3
走行速度(高速／低速)*		km / h	1.3 / 0.6
タワー起伏ロープ速度*		m / min	31×2
エンジン	名称・型式		いすゞ6WG1
	定格出力	kW / min⁻¹(PS / rpm)	397(540)/1800

注1. 単位は、国際単位系(SI)による表示です。( )内は、従来の単位表示を併記したものです。
注2. *印は負荷により速度変化します。
注3. エンジン定格出力はファン無し状態を示します。

■クレーン定格総荷重表 単位:t

作業半径(m)	ジブ長さ(m)
	30.5
10.5	25.0
12.0	25.0
14.0	25.0
16.0	25.0
18.0	25.0
18.8	25.0
20.0	23.4
22.0	19.5
24.0	17.6
26.0	15.4
28.0	13.8
29.0	13.0

■バケット定格総荷重表 単位:t

作業半径(m)	ジブ長さ(m)
	30.5
10.5	20.0
12.0	20.0
14.0	20.0
16.0	20.0
18.0	20.0
20.0	20.0
21.5	20.0
22.0	19.5
24.0	17.6
26.0	15.4
28.0	13.8
29.0	13.0

≪クレーン定格総荷重表注記≫
1.上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の67%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2.実際に吊上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフック等のつり具一切の質量を差し引いた値です。
3.作業半径とは、荷を吊った状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
4.カウンタウエイトは、28.7tです。

≪バケット定格総荷重表注記≫
1.作業半径は負荷時における旋回中心から、つかみ物を含むバケットの重心までの水平距離です。
2.定格総荷重は次式による上限を示すもので、この値を超えないようにつかみ物に応じてバケットを選定してください。
定格総荷重=バケット容量(m^3)×つかみ物密度(t/m^3)+バケット質量(t)
3.つかみ物の種類により容積の異なるバケットを使用する場合でも、上表の定格総荷重を超えてはなりません。
4.カウンタウエイトは、28.7tです。

¥カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがあります。
¥掲載写真は販売仕様と一部異なる場合があります。
¥掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心がけて下さい。
¥掲載写真の色は印刷の関係上、実物と異なる場合があります。
¥掲載機のご使用にあたっては取扱説明書を必ずお読み下さい。
¥吊り上げ荷重5トン以上の移動式クレーンの運転には「移動式クレーン運転免許証」クラムシェル作業には「車両系建設機械運転技能講習終了証」の取得が必要です。
¥基礎機械の運転には「車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習終了証」の取得が必要です。

お問い合わせは・・・

日立住友重機械建機クレーン株式会社
本 社 東京都台東区東上野6丁目9番3号 住友不動産上野ビル8号館
TEL.03-3845-1396 FAX.03-3845-1394 http://www.hsc-crane.com

0908Ⓣ05H.JA099

HITACHI SUMITOMO

SQX500HD-2

埠頭用タワークレーン

高出力エンジン、ハイラインプルウィンチを搭載。

埠頭用タワークレーン
SQX500HD-2

作業性

高出力エンジン

排ガス3次規制対応、397kW(540PS)の高出力エンジンとエンジン別置きの大型ラジエター、大型オイルクーラを採用して、過酷な連続作業を可能にしました。ファン駆動は油圧モータで行い、水温、油温が高温時のみファンが回転するよう制御し、燃費も低減しています。

ハイラインプルウィンチ

最大ラインプル32t(ドラム1層目)のハイラインプルウィンチを搭載し、バケット能力をグロス20tに高めました。ドラムは複索バケットに対応するため、2本巻き取り可能な中間フランジタイプワイドドラムを採用。D/dを大きくしロープ寿命にも配慮しました。

安全性

SCX-2シリーズで好評である安全装置については、視認性の良い大型で高画質な液晶フルカラーグラフィックディスプレーを採用し各種情報を容易に認識することができます。また、過負荷領域に近づくと自動的に音声と文字メッセージでオペレータに危険を知らせる事により安全な作業を可能にしています。

操作性

アウトリガ

シリンダで本体の水平を保持できるように、アウトリガを装着しました。シリンダ操作は、リモコンにより本体の前後いずれの方向からでも安全に操作できます。

上下運転室

クレーン操作は、上部運転室と下部運転室の2箇所から選択して操作が可能。上部運転室からは、主巻き、補巻き、ジブ起伏、旋回操作が、下部運転室からは、主巻き、補巻き、ジブ起伏、タワー起伏、走行、旋回操作が可能になっています。また、ジブ起伏時に吊荷の高さ変化が少なくなるよう、水平引き込み装置を装備しています。

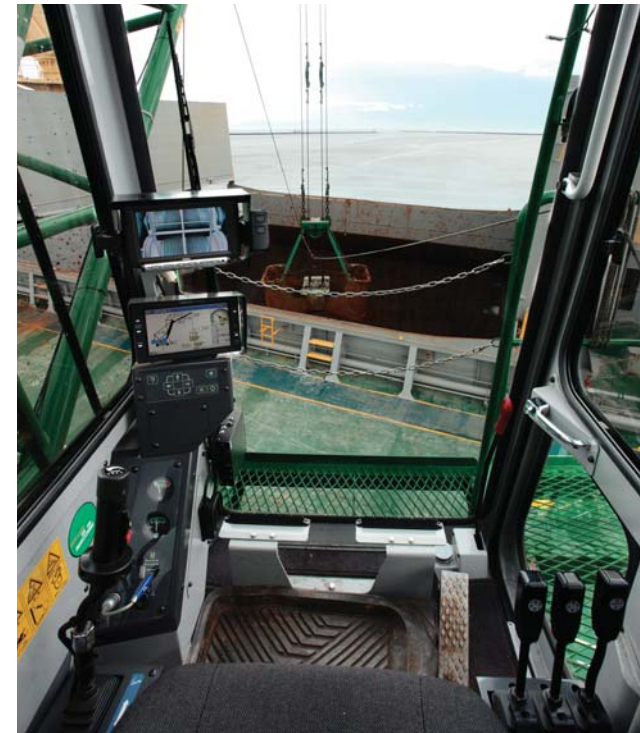
下部運転室

メンテナンス性

タワー部と上部運転室を独立した構造とし、タワーのみを単独で倒すことができ、タワー及びジブを短時間で容易に点検することを可能にしました。

環境性

特定特殊自動車 排出ガス基準 適合車

エンジン排ガス規制の法律であるオフロード法に適合した排ガス3次規制対応エンジンを搭載しており環境にやさしいクレーンとなっています。

居住性

アームチェアコントロールレバーの採用により、視界を大幅に向上させ、オペレータは楽な姿勢で操作ができます。また、上部運転室目線高さが約16mの高位置にあるため、船内を見ながら操作ができ、安全且つ効率的な作業ができます。

■作業範囲図